

“スタート鈴鹿”オープニング サンクスデー F1キックオフパーティーにて授彰式開催

鈴鹿サーキット モータースポーツ顕彰決定

鈴鹿サーキットではこれまでモータースポーツの発展、振興、ファンの拡大につながる顕著な活躍、功績を残された個人または団体を対象にモータースポーツ顕彰を、また大きな活躍が期待される個人を対象にライジングスターアワードを設定し、その功績を広く知っていただくとともに感謝の意を表してまいりました。

2008年度にもっとも顕著な活躍をされた方々、団体等を東京運動記者クラブモータースポーツ分科会、日本モータースポーツ記者会(JMS)、日本レース写真家協会(JRPA)、日本ロードレースプレス協会(RRPA)の皆様のご協力のもとに選出し、下記の通り顕彰を決定させていただきました。

※敬称略

■2008年モータースポーツ顕彰 (2008年に顕著な活躍をした個人・団体など)

★松田次生

2007年は未勝利ながら悲願のフォーミュラ・ニッポンシリーズチャンピオンを獲得。2008年は開幕戦より圧倒的な強さで合計93.5ポイントを獲得し、フォーミュラ・ニッポン史上初となる2年連続チャンピオンを達成した。またSUPER GT第6戦ポッカ1000kmでも堂々の優勝を飾った。



■2008年モータースポーツ特別顕彰 (2008年に特別な活躍をされた個人・団体など)

★日産GT-R

2003年以来5年ぶりにSUPER GT(以前の全日本GT選手権)に復活。2008年シーズン9戦中7勝を記録し、23号車がチャンピオンを獲得。SUPER GT2008年シーズンの話題を独占した。



★稲生南部水利組合

鈴鹿サーキットの改修工事において、パドック拡大のため、山田池の埋め立てにご尽力をいただいた。

■2008年モータースポーツ功労顕彰（永年に渡りモータースポーツの発展に貢献された個人・団体など）**★鈴木亜久里**

長年にわたり、あらゆるカテゴリーでの活躍、チーム監督、チームオーナーとしても手腕を發揮した。2003年にはIRLインディカー・シリーズへの本格参戦を開始し、2006年からはスーパー・アグリF1チームを立ち上げ、若手日本人選手に世界の扉を開くなど日本のモータースポーツ発展に貢献した。

**■2009年ライジングスターアワード4輪**（2008年の活躍と2009年に更なる活躍が期待される4輪選手）**★国本京佑**

2008年全日本F3選手権でランキング2位。F3世界一決定戦となるマカオGPでは2001年の佐藤琢磨以来となる日本人優勝を達成。2009年はフォーミュラ・ニッポンへの参戦が予定されており、さらなる活躍が期待される。

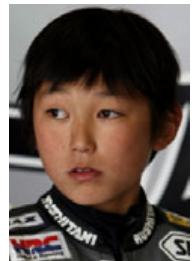
【2008年鈴鹿サーキットでの成績：全日本F3第5戦、第11戦、第12戦で2位表彰台獲得】

**■2009年ライジングスターアワード2輪**（2008年の活躍と2009年に更なる活躍が期待される2輪選手）**★日浦大治朗**

SRS-J（鈴鹿サーキットレーシングスクール ジュニア）出身。2008年はMotoGPのサポートレース「Red Bull MotoGP Rookies Cup」や、全日本ロードレースで活躍。将来MotoGPへのステップアップも期待される。

【2008年Red Bull MotoGP Rookies Cup主な成績：優勝1回を含む表彰第3回獲得】

【2008年鈴鹿サーキットでの成績：全日本ロードレース第5戦GP125 予選4位、決勝リタイヤ】



各受彰の皆様は4月12日(日)(時間未定)にレーシングコースポディウムで行われる授彰式にご参加予定です。
(代理の方のご出席となる場合もございます。あらかじめご了承ください。)